

くらし
故郷を守る建設業

『地域の守り手』

毎年、全国各地で地震や異常気象による自然災害が発生し、比較的災害の少ないとされてきた本県においても、平成27年9月の「関東・東北豪雨」では甚大な被害を受けました。災害時における迅速な応急復旧活動における対応こそ、私たち地方の建設業者が『地域の守り手』として、住民から頼られ必要とされる時です。

平成29年7月 九州北部豪雨

【写真】国土交通省 九州地方整備局 ホームページ



福岡県朝倉市赤谷川

平成29年7月5日、昼頃から夜にかけて九州北部で局地的に非常に激しい雨が降り、福岡県・大分県に九州地方では初めての大雨特別警報が発令。24時間の解析雨量は、福岡県朝倉市で約1,000mm、大分県日田市で約600mmの記録的豪雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。



福岡県朝倉市山田地区



大分県日田市小野地区

栃木県でもさまざまな災害があり、 栃木県建設業協会は迅速に現場に駆けつけ、復旧活動に着手!!

栃木県建設業協会では、国や栃木県等との災害協定に基づき組織力や機動力を活かし、異常気象時のパトロールや緊急出動を始め『地域の守り手』として県等の補完機能を果たしています。



平成10年8月「那須豪雨」
国道4号（那須町余笹橋付近）



平成26年2月「大雪」
国道120号（日光市中宮祠付近）



平成27年9月「関東・東北豪雨」
赤堀川（日光市大沢付近）流木撤去



平成27年9月「関東・東北豪雨」
国道121号（日光市日塩道路入口付近）



平成27年9月「関東・東北豪雨」
国道400号（日光市尾頭トンネル）



平成28年1月「大雪」
県道伊王野白河線（那須町追分付近）

